

～オートスタッカー導入による処理能力拡大に伴う輸出量拡大～ 株式会社かねきう（茨城県神栖市）

背景・課題

銚子・波崎地区では週に2日程度で1回につき5,000tと大量に水揚げされるため、迅速な加工処理能力が求められているものの、作業員の人員不足や処理体制等の理由により対応が難しく、生産量が頭打ちである。

近年サバの中心組成サイズが300-400gで推移しており、400g以上の大型サイズの販売に苦慮している。

取組のポイント

- ・ラックスタッカーを導入し、素早く高品質な商品製造体制を構築し、商品のブランド力強化や他国との差別化を図った。
- ・積み込み工程を機械化することで生じる余剰人員を他の工程に配置する等、生産ラインの整備に取組んだ。
- ・大型サイズの販売は国内向けに鮮魚、海外向けは東南アジアへの総菜向け加工原料等サイズに応じた販路の開拓に取組んだ。

取組の成果

- ・機器導入により処理能力が向上し労働環境が改善。
- ・工程の省人化に成功し、手作業が中心である鮮魚出荷等に配置したことで、全体の処理能力が向上。
- ・コロナウイルス感染拡大の影響等により、コンテナの確保が難しく、運賃の高騰等が生じていることに加え、浜値が高騰しておりアフリカ向けの輸出量が伸び悩んでいるものの、東南アジア向けの輸出量は順調に推移。

プロジェクトフロー

銚子・波崎地区

従来の工程では大量水揚げ時に選別や冷凍が対応できず、品質の劣化が生じている

400g以上の大型サイズのサバの販売に苦慮

・冷凍加工業者等

作業時間短縮・処理量拡大

株式会社かねきう

製造工程の問題から、数量や選別、品質面で生産量が頭打ち

ラックスタッカーを導入し、処理能力向上による生産量拡大に取組む

輸出先国

販売先国からは、より高品質な製品が求められている。

東南アジアへの輸出が順調に推移。継続的な取引が期待できる

オートスタッカー (全自動積載装置)

